

TMOによる総合的な活性化策の実施。そのうち、街中の コミュニティ機能を担う施設を中心にレポート

株式会社 まちづくりとやま(富山県富山市)

富山市中心街の位置



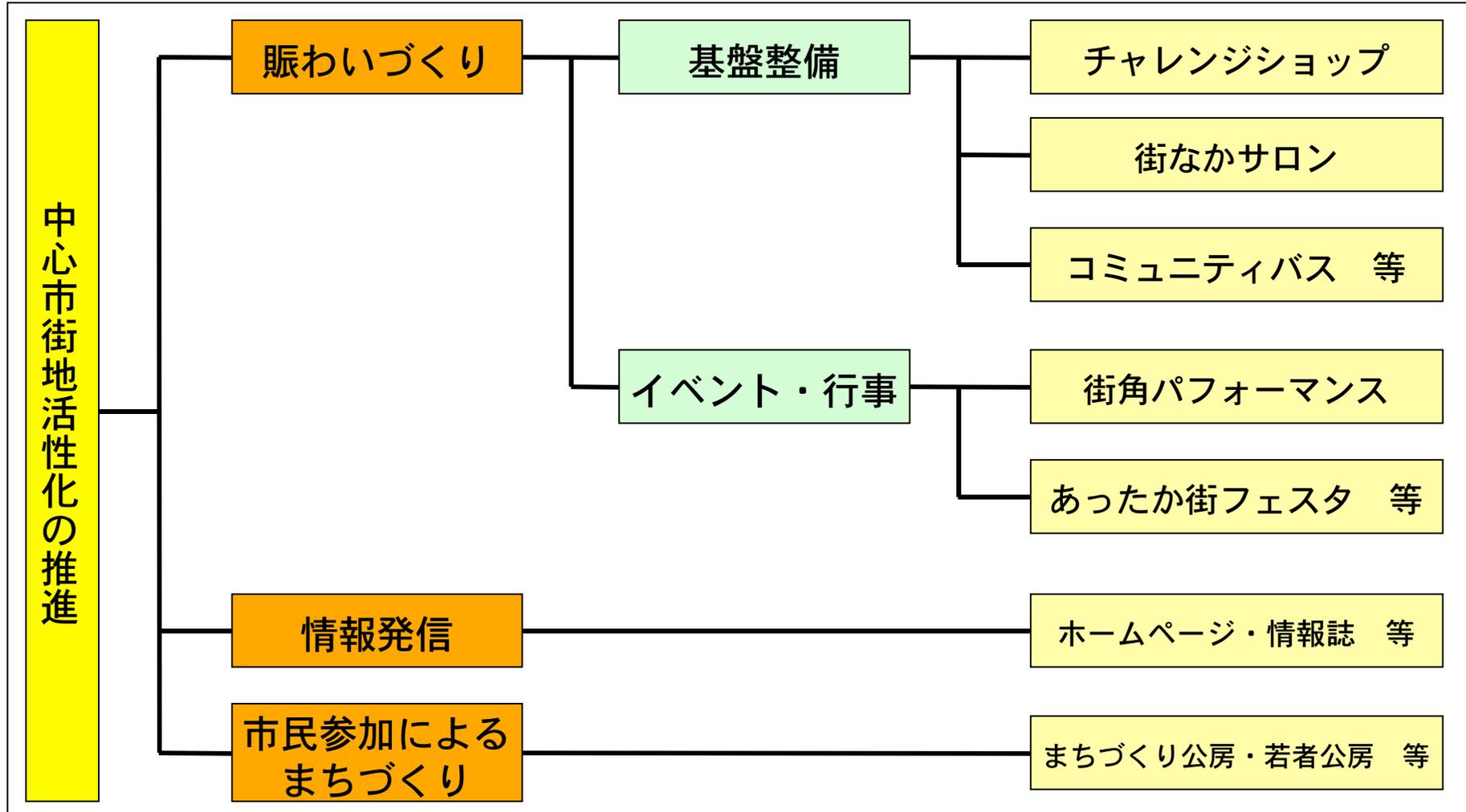
富山市中心街の概要及び事業概要

- 富山市は平成**17年4月**に近隣**6町村**と合併し、人口約**42万人**の都市として新たにスタートした。
- 中心市街地は、郊外化の進展による定住人口の減少と商業力の低下が進んでいた。
- そこで、富山市は平成**11年9月**に「富山市中心市街地活性化基本計画」を策定。
- 平成**12年3月**に、富山商工会議所が富山**TMO**構想を策定し、この構想に基づいて平成**12年7月**に、第**3**セクターとして株式会社まちづくりとやまが設立された。
- この株式会社まちづくりとやまが中心となって、「賑わいづくり」、「情報発信」、「市民参加によるまちづくり」というテーマのもと、総合的、かつ体系的に活性化事業に取り組んでいる。

富山市中心街の概要及び事業概要（つづき）

- 中でも、平成9年から全国で初めて取り組んだチャレンジショップ事業では、卒業生のうち**50名以上**が中心市街地で開業するという大きな成果を上げている。
- そして、街なかに必要なコミュニティ機能を付加するため、「街なかサロン 樹の子」を設置。来街者の休憩・交流の場、子育て支援の場として活用。

(株)まちづくりとやま の推進施策の体系



株式会社まちづくりとやま 代表取締役副社長 松井 幹夫 氏へのインタビュー

Q. 「株式会社まちづくりとやま」を設立した経緯について

- 中心商店街への来街者の減少により、街に活力が失われつつあった。
- 街の再活性化を図るため、平成12年7月に、行政、商工会議所、商店街、主要な民間企業の出資により、第3セクターのまちづくり会社が設立された。

Q. 活性化事業の概要について

- 活性化事業は**3本柱**で実施。

①賑わいづくり

基盤整備（ミニチャレンジショップ、コミュニティバス、レンタルサイクル、越中大手市場、街なかサロン）とイベントの**2本柱**

②情報の発信

③市民参加によるまちづくり

株式会社まちづくりとやま 事業推進企画部長 荒井 宏氏へのインタビュー

Q. 街なかサロン「樹の子」とは？

- 来街者が休憩したり交流する場、育児中の母親が子供を預けて買い物をしたり、親子で交流したりする育児支援の場。

Q. 施設のご紹介

- 1Fは交流サロン。市民が手づくり商品を販売するレンタルBOX、喫茶・休憩コーナー、トイレなど
 - 2Fはキッズコーナー。立山杉を使ったお遊びフリースペース、授乳・おむつ換えコーナー、絵本コーナー、トイレなど
-

Q. 街なかサロンでのイベント活動について

- 1Fの交流サロンは、毎月実施している街角パフォーマンスの会場として利用する。（三味線、弾き語りなど）
 - 2Fのキッズコーナーでは、髪カット教室、子供ファッションショーなどのイベントを地元商店街の協力の下実施している。
-

Q. 街なかサロンの運営について

- 施設全体の管理及び1Fを、スタッフ4名が交替で行う。
 - 2Fのキッズコーナーは、保育士、育児経験者及び一般市民ボランティアによって運営。
 - 運営費は、国、県、市の補助金で賄っている。
-

中央通商店街振興組合
常務理事 小川 博さんへのインタビュー

Q. 街なかサロンの設立に当たって

- 以前からお客様から、気軽に利用できる休憩所やトイレの要望があったので、商店街としてもこの施設の設置には全面的に協力した。

街なかサロン「樹の子」 スタッフ 熊西 慶子さんへのインタビュー

Q. 1Fの交流サロンを利用する
お客様の反響はいかがですか？

- こういう場所がほしかった、という声が多く、買い物の途中で休憩したり、お茶を飲んだりし、そこで顔なじみになって交流が生まれるなど、とても期待されている施設だと思う。

街なかサロン「樹の子キッズ」 ボランティア 林 千恵子さんへのインタビュー

Q. 2Fのキッズコーナーをお客様は
どのように利用されていますか？

- 乳児の授乳、ベッドでのお昼寝、おむつ交換などができる。
- 一時預かりも行っているので、母親が買い物や習い事をして
いる間に預けることもある。

キッズコーナーの 利用者へのインタビュー

Q. 利用して良かったことは？

- 街なかサロンをきっかけに友達ができたり、育児相談ができること。
- 子供も他の子と楽しく遊べること。

Q. どのように利用されていますか？

- 待ち合わせ場所にして、ここで他の親子と遊ぶ。

株式会社まちづくりとやま
事業推進企画部長
荒井 宏 氏へのインタビュー

Q. 街なかサロンの利用状況について

- 1Fは高齢者の方が多く、2Fは若い親子連れ
- 店頭で朝市を行っており、それをきっかけに喫茶など利用者が増えている。

Q. ミニチャレンジショップ事業の取り組みについて

- 平成**9**年に若者を対象としたチャレンジショップ（「フリークポケット」）を開設。
- 平成**13**年に高齢者やシニア向けのチャレンジショップ（「まちなか西遊房」）を開設。
- ねらいは、空き店舗対策と創業者の支援
- 開設以来、卒業生のうち**50**人以上が中心街で開業している。

株式会社まちづくりとやま 代表取締役副社長 松井 幹夫 氏へのインタビュー

Q. まちづくりに大切なことは何でしょうか？

- 行政や**TMO**だけでなく、商工会議所や商店街など各方面の協力とネットワークが大切。

関連URL

- 株式会社まちづくりとやま
(<http://www.tmo-toyama.com/>)
-